

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	道徳				
担当者氏名	新井 真利子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

道徳教育の理論を学び、「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育」の方法を理解するとともに、その「要」となる「特別の教科 道徳（道徳科）」の目標並びに内容などを理解して、身につけることを目的とする。

《テキスト》

「ゼロから学べる道徳科授業づくり」「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

《参考図書》

《授業の到達目標》

(1) 道徳とは何か、本質を考え、理解し、説明することができる。(2) 道徳教育の歴史や、現代社会における課題を理解し、要点を言える。(3) 学習指導要領に示された目標、主な内容を理解し、説明できる。

《授業時間外学習》

・予習・復習の内容、方法は授業時、適宜紹介する。 ・授業の始めに予習・復習状況を確認する。

《成績評価の方法》

授業態度、課題、提出物、レポート等平常点70%。定期テストに替わる確認テスト及び授業のまとめ30%。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校・中学校・高等学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	自分が受けた道徳教育の振り返り・道徳の本質を考え発表する。
2	道徳教育・道徳科の目標	道徳教育・道徳科の目標、道徳の起源について知り、道徳教育の考え方を発表する。
3	道徳の内容項目	内容項目を理解し、「道徳性」、生徒指導と道徳について考え、発表する。
4	道徳性の認知発達理論	子供の心の成長とデューイ、フロイト、ピアジュ等の理論を理解する。
5	考え議論する道徳	考え議論する道徳を体験し、理解する。
6	魅力的な道徳教材（1）	体験しながらモラルジレンマ教材を理解する。
7	魅力的な道徳教材（2）	体験しながら問題解決的な学習を理解する。
8	魅力的な道徳教材（3）	体験しながらモラルスキルトレーニングについて理解する。
9	魅力的な道徳教材（4）	体験しながら構成的エンカウンターについて理解する。
10	魅力的な道徳教材（5）	体験しながらワークショップ型について理解する。
11	評価の意義と方法	ポートフォリオ、自己評価、通知表に記載する評価について知り、評価練習をする。
12	指導案の書き方（1）	導入・展開・終末・板書・発問・ワークシートの工夫。模擬授業を体験する（1）。
13	指導案の書き方（2）	導入・展開・終末・板書・発問・ワークシートの工夫。模擬授業を体験する（2）。
14	指導案の書き方（3）	導入・展開・終末・板書・発問・ワークシートの工夫。模擬授業を体験する（3）。
15	振り返り	定期試験に替わる確認テスト・授業のまとめ、リフレクションとメタ認知